

Lesson 02 「縄文時代の生活と精神」

～ Logical - 通史理解「日本史探究」疾風 Watabe 塾 ～

【縄文遺跡群】

UNESCO

① 2021年〔1 **国連教育科学文化機関** 〕は〔2 **北海道** ・ **北東北** 〕に位置する「17 **地点/縄文遺跡群**」の〈**世界文化遺産登録**〉を決定した。

(北海道の「キウス周堤墓群」「北黄金貝塚」「大船遺跡」などが含まれる)

※世界遺産委員会の評価ポイントは以下の2点

- ◆「農耕をともなわない定住社会および複雑な〔3 **精神文化** 〕を示す
- ◆「定住社会の発展段階やさまざまな〔4 **環境変化** 〕への適応を示す

【縄文文化の成立】

① 〔5 **地球温暖化** 〕～(完新世:約1万5千年前から約1万年前)沿岸の海面は現在より〔6 **約5m** 〕高い…海面上昇=〔7 〕

② **縄文文化**の成立(約1万3千年前)

<特色>

○定住化

- 〔8 **獲得** 〕経済…〔9 **採集** ・ **狩猟** ・ **漁労** 〕
- 縄目文様をほどこした〔10 **縄文土器** 〕を製作/使用～貯蔵用・煮炊用
- 打製石器から進化した〔11 **磨製石器** 〕を製作/使用

<時期区分>(約1万3千年前から紀元前4世紀までの約1万年間)

…製作された土器形状の変化により

→〔12 **草創期** 〕・早期・前期・中期・後期・〔13 **晩期** 〕…6期に区分

○狩猟の変化

～大型獣(マンモス・ナウマンゾウなど)の絶滅

変化:シカ・イノシシ・鳥などの動作が素早い中小動物の狩猟

→そのために、〔14 **弓矢** 〕を製作/使用

地面に落とし穴を掘る

○縄文海進のピーク(縄文前期・約6000年前)

→漁労がさかんとする…〔15 **骨角器** 〕を製作/使用
※動物の角や骨を材料とする道具

○東日本では落葉広葉樹林が広がる

→土掘り用打製石器・石皿・すり石

※気候/植生による〔16 **東日本の優位性** 〕があらわれはじめる

【縄文時代の生活】

- ・集落～〔17 **竪穴住居** 〕…「掘立柱」
日当たりのよい台地上、〔18 **貝塚** 〕の形成、貯蔵穴
- ・遠隔地との交流～石器の材料、接着剤、〔19 **装身具** 〕の材料、通婚
- ・**東日本の優位性** = 集落密度が高い～植物資源(木の実)と動物資源(鮭)が豊富
- ・狩猟に必要とされた「石器」の進化
○旧石器時代から引き続き、**黒曜石・サヌカイト**を材料とする
<種類> ◆矢の先につける…〔20 **石鏃** 〕
◆槍の先につける…〔21 **石槍** 〕
◆動物の皮を剥ぐ…〔22 **石匙** 〕

【縄文農耕論】

- ・縄文時代に農耕は開始されているという主張 = 〔23 **縄文農耕論** 〕
○長野県 **尖石遺跡**(縄文中期)→大型打製石斧(石鏃)が大量に出土
○福井県 **鳥浜貝塚**(縄文前期)→低湿地遺跡から栽培植物の種子が発見
○縄文土器(縄文中期/後期)から、イネの〔24 **プラントオパール** 〕発見

【縄文時代の交易】

- ・長野県和田峠で多く産出、北海道では十勝石〔25 **黒曜石** 〕
- ・讃岐石ともいい、四国・中国・近畿が産出地〔26 **サヌカイト** 〕
- ・姫川流域(長野県～新潟県)原産の深緑の石〔27 **ひすい** 〕
- ・石器・骨角器と木の接着や、土器補修の材料〔28 **アスファルト** 〕

【縄文時代の社会関係と習俗】

- ・人口の増加と深刻な飢餓～不安定な社会
- ・社会的関係の特徴として→平等な社会～貧富の差や階級格差なし
- ・〔29 **アニミズム** 〕
◇自然物崇拝→豊かな収穫を祈願、〔30 **土偶** 〕(女性を表現)
〔31 **石棒** 〕(男性を表現)
- ・習俗～装身具の発達、入れ墨の風習、〔32 **抜歯** 〕(=通過儀式)
〔33 **叉状研歯** 〕…指導的立場?
- ・共同墓地の成立(縄文前期)～土坑墓⇒方式:〔34 **屈葬** 〕…鎮魂?合理性?

【日本人の起源】

- ・日本人の起源(原日本人は古モンゴロイドの系譜)
古モンゴロイド = 〔35 **縄文人** 〕と
新モンゴロイド = 〔36 **弥生人** 〕との混血 ※新説 = 3源流
- ・原日本語
〔37 **ウラル・アルタイ** 〕語系(北方系)と南方系言語の特色をもつ